

学校図書館の管理運営及び司書教諭に 関する現況調査

—— 松山市の小学校・中学校へのアンケート調査結果概要について ——

中 川 正 己

I. は じ め に

平成 15 年 4 月 1 日より学校図書館には、学校図書館法改正で、司書教諭の配置が定められました。法改正が決まった 1997 年 6 月までの過去の経過の一部をもう一度ふりかえってみたいと思います。

今回の法改正は 40 年あまり続いた（学校図書館法 1953 制定）学校図書館法附則第 2 項「当分の間置かないことができる」とされていた司書教諭設置の猶予期間を「11 学級以下の学校」を除き平成 15 年 3 月 31 日までとした。附則第 2 項の一部を改正して、司書教諭を配置しようとすることは、数十年関係してきた団体や個人の努力のたまもので、その意義は大きいと思います。

しかし、それでも指摘されるように、問題点を残したものになりました。

まず、11 学級以下の学校が司書教諭を配置されないという不公平です。小規模校こそ遠隔地や分校等で、それでなくても情報量の少ない学校が、切り捨てられるということです。全体のレベルを上げるため、少人数の学校もレベル向上に向かうのが、改善であるのに、それが除外されるという問題があります。

次に、今の行財政状況では、法改正による専任職員の配置は困難です。仮に司書教諭を配置したとしても、第 5 条第 2 項に「前項の司書教諭は、教諭をもって充てる。この場合において、当該教諭は、司書教諭の講習を終了した者でなければならない」と定められているから、「充て職」規定がある限り、教諭の

定数増がなければ司書教諭は専任にならない。附則を撤廃しても、第5条の「充て職」規定を改め、教職員定数法を改正しない限り、司書教諭を配置した効果は望めないことになります¹⁾。

しかし、上記の点があるにしても、1997年6月3日学校図書館法改正の第1歩が踏み出された日までの、衆参両議院の質疑応答を中心に、6項目の付帯決議の要約が今後の展望であり、各関係機関（国府県市町村、学校等）がこの方向で努力をしていくことになります。その要約とは

1. 今後中長期の学校図書館の在り方を総合的に検討する。
2. 司書教諭の計画的養成・発令に勤めるとともに、小規模校への設置についても配慮する。
3. 司書教諭講習内容の現状化および教員免許取得前の受講を可能にする。
4. 司書教諭の職務の在り方に関し、担当授業時間数の軽減や司書教諭の専任化の検討と所要の措置をする。
5. 現に勤務する学校司書がその職を失う結果にならないようにするとともに、より一層の充実を配慮する。
6. マルチメディア時代に向けた学習情報センターとしての機能の充実に努める。

文部省は6月11日付で各都道府県教育委員会等あてに、改正の趣旨、概要、留意事項を「学校図書館法の一部改正する法律の施行について」で通知し、さらに8月1日「学校図書館の充実等に関する調査研究協力者会議」を発足させた²⁾。

以上の流れから、愛媛県松山市では現況をどう受けとめられているかを調査するためのアンケートを小学校、中学校にお願いすることにしました。

上記の文章等は、学校等にご報告したものとは違ったものです。若干改定しています。

Ⅱ. アンケート調査結果

調査数

配布数	72 校	}	小学校 46 (12 学級以上 38)
			(11 学級以下 8)
			中学校 26 (12 学級以上 19)
			(11 学級以下 7)

回収数	59校	}	小学校 38 校
回収率	82%		中学校 21 校

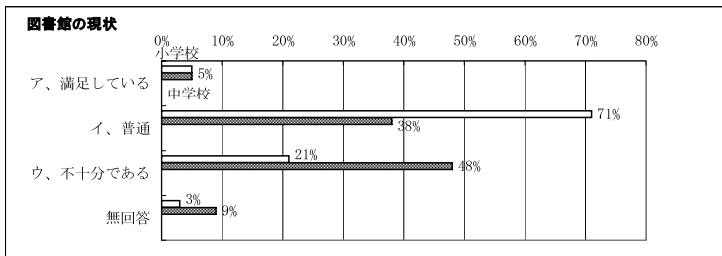
問 1 貴校の学校図書館の現状について、どう考えていますか。(該当のものに○印)

	小学校		中学校		全 体	
ア. 満足している	2	5%	1	5%	3	5%
イ. 普通	27	71%	8	38%	35	60%
ウ. 不十分である	8	21%	10	48%	18	30%
無回答	1	3%	2	9%	3	5%

* 全国平均

ア. 満足している	3.80%
イ. 普通	30.60%
ウ. 不十分である	65.60%

* 第 2 回学校図書館調査中間報告 (日本学校図書館学会調査委員会)³⁾

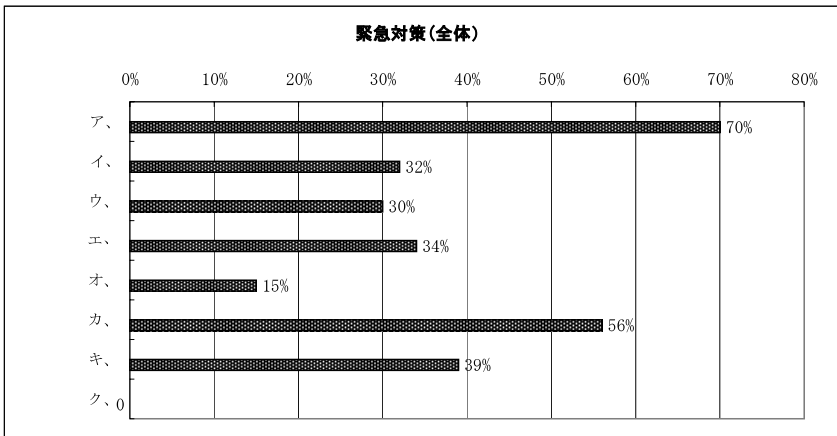


(所感)

全体で約60%が現状を普通だと考えており、不十分と考えているのは30%である。これは甘い現状認識であると思う。小中校別にみると不十分と考えるのは、中学校で48%、小学校21%で、小学校の方が特に甘い。蔵書数、図書館の広さ、司書教諭の兼務や、その時間軽減もなく、学校司書（補助職員等も含む）のフルタイムの配置もなく、文部科学省の示す基準や図書館法の付帯決議（衆議院、参議院の両院あり）からみても不十分と考えるのが妥当と思われるからである。ところで「普通」という現状肯定からは、今後のための改善計画は生じないだろう。全国調査では65%が不十分というデータもある。もっと学校図書館進展への問題意識をもつことが望まれます。

問2 図書館をあるべき姿にするために、いま必要な緊急対策を3つ選んでください。

	小学校	中学校	全 体
ア. 図書・資料の予算を増やす	30(78.9%)	11(52.4%)	41(70%)
イ. 司書教諭（専任）を配置する必要がある	10(26.3%)	9(42.9%)	19(32%)
ウ. 専任の学校司書、または指導補助員等も配置する	14(36.8%)	4(19.5%)	18(30%)
エ. スペースを広くとり、閲覧室、自習室等目的別にスペースを配分する	11(28.9%)	9(42.9%)	20(34%)
オ. 図書以外の資料の充実を図る	4(10.5%)	5(23.8%)	9(15%)
カ. 各教科の学習に利用できる資料の充実を図る	21(55.3%)	12(57.1%)	33(56%)
キ. コンピュータによる検索システムのネットワークを図る	16(42.1%)	7(33.3%)	23(39%)
ク. 司書教諭の有資格者を増やす	1(2.6%)	0	1(1.7%)
ケ. 管理職を対象として研修会を設ける	0	0	
コ. 研修会の機会を充実させ同時に図書館活動の研究校を増やす	0		
サ. その他 (1)学校図書館支援員制度を続ける (2)図書館に常に司書教諭や支援員さんにいてほしい			



今、必要な緊急対策を3つ選択してもらった結果、そのパーセンテージの多い順に見ると次のとおりである。

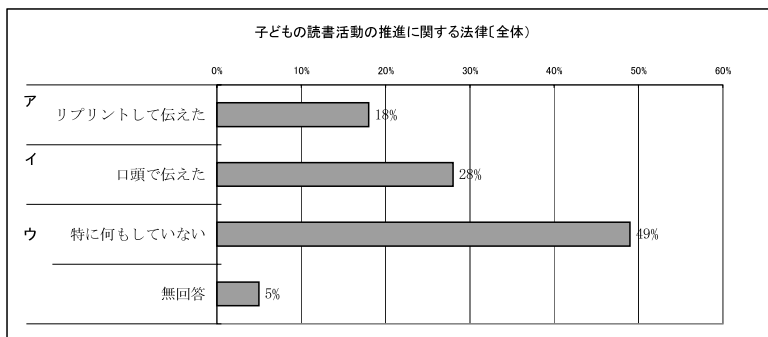
- | | |
|---|---------------|
| (1) 図書資料の増額の必要性 (70%) | } 資料の充実に関する事項 |
| (2) 各教科学習に利用のできる資料の充実 (56%) | |
| (3) コンピュータによる検索システムの確立と図書館のネットワーク (39%) | } 施設設備に関する事項 |
| (4) スペースを広く取り、利用目的別に配分する (34%) | |
| (5) 専任司書教諭の配置 (32%) | } 職員に関する事項 |
| (6) 専任学校司書又は補助員の配置 (30%) | |

資料、施設・設備、人ともに、図書館運営の3大要素です。アンケート結果は将にこの重要性を指摘している。資料関係以外は関心が低い。それから、図書以外の資料を軽く見ていること、司書教諭や学校司書などの配置を重要と考えている学校は30%程度しかない。

問3 学校図書館に関する充実施策への対応についてお尋ねします。

3-1 「子どもの読書活動の推進に関する法律」や「子どもの読書活動の推進に関する基本的計画」(閣議決定)等を職員に周知させましたか。

		小学校	中学校	全 体
ア	リプリントして伝えた	5 (14%)	5 (25%)	10 (18%)
イ	口頭で伝えた	11 (30%)	5 (25%)	16 (28%)
ウ	特に何もしていない	18 (49%)	10 (50%)	28 (49%)
	無回答		3 (8%)	3 (5%)



「子ども読書活動推進法」を伝えた、と特に何もしていない、が半々で、半分の職員は周知されず認識されていないのではないかな。

今、全国で「子ども読書活動推進法」をどう進めるか、「学校図書館活性化をどうすすめるか」という研究大会や取り組みが盛んに行われ、2000年「子ども読書年」から2001年「子ども読書活動推進法」と学校図書館活用の気運が高まっている。さらに学校図書館に「人」がいるということの切実感が、運動に結びつく動きも大きくなっている。

3-2 「学校図書館図書整備新5カ年計画」によって、あなたの市では交付金に相当する金額が予算化されていますか。

		小学校	中学校	全 体
ア	予算化され執行している	1 (3%)	3 (15%)	4 (7%)
イ	予算化されていない	0 (ー)	1 (5%)	1 (2%)
ウ	分からない	3 (8%)	0 (ー)	3 (5%)
	無回答	33 (86%)	16 (80%)	49 (86%)

「分からない」と「無回答」を合わせると約 90% 以上の学校がこの計画の意義を十分理解していないように思われる。「学校図書館図書整備新5カ年計画」は、学校図書館の蔵書冊数を「学校図書館図書標準」の基準に引き上げるため、それまでの「備品購入費・教材費」に含まれる図書費とは別に、5年間で約 650 億円（年間 130 億円）を 2002 年度から措置された。2003 年度現在、図書標準の達成率は、小学校 34.8%，中学校 29% にしか満たない。（文科省調べ）松山市も例外でなく、予算計上された 1 校あたりの平均図書費は、小学校 42 万 806 円、中学校 63 万 9,716 円という（全国 SLA 調べ）図書標準に達していない学校が 7 割前後あり、無関心、分からないではすまされない。

平成 15 年度、松山市は「備品購入費・教材費」で図書費を計上しているが、これは新 5 カ年計画の「学校図書館図書整備費」ではない。平成 16 年度はどうなっているのだろう。図書購入費が「備品購入費・教材費」と「学校図書館図書整備費」の 2 つの項目で積算されていることを知らないと基準に引き上げが遅れてしまう。前者は更新用、後者は基準に引き上げのための 5 カ年限定の特別枠である。蔵書を 1.5 倍の基準にする必要は急がれる。

問4 貴校の司書教諭の発令の実状についてお尋ねします。(平成15年4月以降)

		小学校	中学校	全 体
ア	市教育委員会が発令した	32 (89%)	12 (60%)	44 (78%)
イ	学校長名で発令した	0 (-)	2 (10%)	2 (4%)
ウ	発令していない	0 (-)	5 (25%)	5 (9%)
	無回答	4 (11%)	1 (5%)	5 (9%)

無回答の理由 (1) 司書教諭がない (2校)

(2) 発令していない (2校)

(3) 学級数が基準に達しないため (1校)

1. 松山市教委が発令した司書教諭は、44校(78%)となっているが、県の資料をみると57校(100%)となっている。(12学級以上の場合)発令率の違いは、13校分のアンケート不参加分があるからである。
2. 12学級以上の57校(100%)が市教委の発令ということであれば、イ。「学校長名で発令」の2校、ウ。「発令していない」の5校は小規模校(11学級以下)と考えられる。
3. 無回答が5校あるが、その理由として、(1)「司書教諭がない」(2校)のは、有資格者がいないのか、または発令されなかったのだと考える。これは小規模校と思う。(2)「発令していない」(2校)…小規模校と考える。(3)「学級数が基準に達しない」(1校)…当然小規模校である。
4. 小規模校のうち、2校は校長名で発令していることが解る。これはよい例であり、校長は学校図書館に熱意のある方と思う。

問5 「発令した」という学校にお尋ねします。

ア. 発令数 名

イ. 性別 男 女

ウ. 担当教科 国語その他 ()

エ. 年齢 20代 30代 40代 50代

オ. 校務分掌 図書他 ()

カ. 身分 専任 兼任 (図書課長 図書課長補佐 図書主任) その他

キ. 授業時間数の軽減 あり (週 時間) なし (理由)

○発令した学校の状況

項目	小学校	中学校	全 体
ア. 発令数	1名 28校 (93%) 2名 1校 (3%) 4名 1校 (3%) 計 34名	1名 14校 (79%) 1名 1校(校長辞令) 計 15名	45校 計 49名
イ. 性別	男… 0 女…30名	男… 0 女…14名	男… 0 女…44名
ウ. 担当教科	国語, その他	国語 14名	他
エ. 年齢	20代 2名 (9%) 30代 14名 (61%) 40代 3名 (13%) 50代 4名 (17%)	20代 0 30代 7名 (50%) 40代 6名 (43%) 50代 1名 (7%)	20代 2名 30代 21名 40代 9名 50代 5名
オ. 校務分掌	図書主任 研修主任 委員会活動主任 図画工作科主任	図書主任 研修主任 道徳主任 国語主任	それぞれ何らかの校務分掌を持っている
カ. 身分	兼任 (学級担任, 家庭科図書主任)	兼任 (図書主任 7) その他	専任…なし 兼任のみ (全体)
キ. 授業時間数の軽減	あり… 1 (週3時間) なし…28 無回答… 8	あり… 1(週18時間) なし…12 無回答… 2	あり… 2 なし…40 無回答…10

軽減措置のない理由として述べられていること <(1)教員定数減, 不足のため
(2)兼任の状況のため(3)小規模校のため(4)支援員がいるため等>

問5は, 質問の仕方に不備があり, 回答数値は正確性を欠くことになった。
(具体例などのサンプルをあげるとよかった) しかし, 大体の傾向を知る上で参考になる。

1. 発令数の人数は, 大体1校1名であるが, 2名とか4名を発令した学校もある。大規模校か特殊学級だろう。発令は市教育委員会の他に小規模校のうち, 2校は校長辞令を出すなどもあり, アンケート実数に若干の正確さを欠く。
2. 性別の項では, 司書教諭は女性ばかりで, 男性はいない。この結果は何を物語るのか。司書教諭講習会には男性が2割位受講していたのに。

3. 担当教科は国語科の方が占めている。インフォメーション・パワーのことを考えると社会科，理科，情報関係の担当者も…と思う。
4. 年齢の項では，ここの人数に正確さを欠くが，30代～40代が中心。
5. 校務分掌は，何らかの係と兼務であり，司書教諭の仕事をする時間はとれそうにない職員が多いようだ。
6. 身分は全校とも兼任であり，専任は1名もいない。時間軽減の措置もとられていない学校が多い。でも小学校に1校週3時間，中学校1校に週18時間の授業時間の軽減措置をとっている例がある。小中校に各1校しかないのは残念である。

問6 司書教諭として次に示す職務のうちどれを担当していますか。専管事項には◎印，主導的にかかわっている事項には○印，補助的にかかわっている事項には△印をつけてください。

A 指導的・奉仕的職務

(小学校)

職 務 内 容	専管事項◎	主導的事項○	補助的事項△
ア. 学校図書館・資料の利用指導	◎ 5 (16%)	○13 (19%)	△ 6 (11%)
イ. 生徒・教師へのレファレンス	◎ 1 (3%)	○ 8 (11%)	△11 (20%)
ウ. 生徒に応じた読書指導	◎ 1 (3%)	○13 (19%)	△ 7 (13%)
エ. 教師の教材準備への協力	◎ 0	○ 3 (4%)	△14 (26%)
オ. 図書館内の利用態度の指導	◎ 5 (16%)	○15 (21%)	△ 5 (9%)
カ. 生徒図書委員会の指導	◎14 (45%)	○ 8 (11%)	△ 3 (6%)
キ. 読書会等の行事の指導	◎ 5 (16%)	○10 (14%)	△ 8 (15%)

(中学校)

職 務 内 容	専管事項◎	主導的事項○	補助的事項△
ア. 学校図書館・資料の利用指導	◎ 6 (20%)	○ 6 (15%)	△ 2 (17%)
イ. 生徒・教師へのレファレンス	◎ 3 (10%)	○ 6 (15%)	△ 2 (17%)
ウ. 生徒に応じた読書指導	◎ 1 (3%)	○ 8 (20%)	△ 1 (8%)
エ. 教師の教材準備への協力	◎ 3 (10%)	○ 3 (7%)	△ 3 (25%)
オ. 図書館内の利用態度の指導	◎ 6 (20%)	○ 8 (20%)	△ 0
カ. 生徒図書委員会の指導	◎ 8 (27%)	○ 5 (12%)	△ 1 (8%)
キ. 読書会等の行事の指導	◎ 3 (10%)	○ 5 (12%)	△ 3 (25%)

A 指導的・奉仕的職務の専管事項では、カ.の「生徒図書委員会の指導」が一番多く、次いで、ア.「学校図書館・資料の利用指導」オ.「図書館内の利用態度の指導」キ.「読書会等の行事の指導」順である。カ.「生徒図書委員会の指導」(小学校)の45%のほかは20%以下である。ア.利用指導、イ.レファレンス、エ.教材準備への協力などが少ないのは残念である。

B 管理的職務

(小学校)

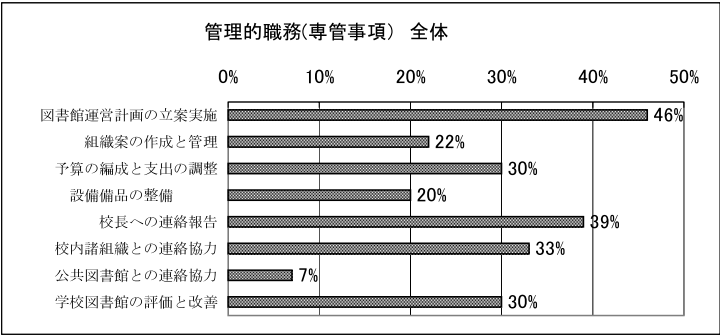
職 務 内 容	専管事項◎	主導的事項○	補助的事項△
ア. 図書館運営計画の立案実施	◎11 (21%)	○10 (11%)	△ 3 (12%)
イ. 組織案の作成と管理	◎ 4 (8%)	○ 9 (10%)	△ 3 (12%)
ウ. 予算の編成と支出の調整	◎ 7 (13%)	○12 (14%)	△ 3 (12%)
エ. 設備備品の整備	◎ 4 (8%)	○16 (18%)	△ 3 (12%)
オ. 校長への連絡報告	◎ 9 (17%)	○10 (11%)	△ 3 (12%)
カ. 校内諸組織との連絡協力	◎ 8 (15%)	○11 (13%)	△ 3 (12%)
キ. 公共図書館との連絡協力	◎ 2 (4%)	○ 7 (8%)	△ 5 (19%)
ク. 学校図書館の評価と改善	◎ 8 (15%)	○12 (13%)	△ 3 (12%)

(中学校)

職 務 内 容	専管事項◎	主導的事項○	補助的事項△
ア. 図書館運営計画の立案実施	◎10 (20%)	○ 2 (7%)	△ 0
イ. 組織案の作成と管理	◎ 6 (12%)	○ 2 (7%)	△ 0
ウ. 予算の編成と支出の調整	◎ 7 (14%)	○ 5 (19%)	△ 0
エ. 設備備品の整備	◎ 5 (10%)	○ 8 (30%)	△ 0
オ. 校長への連絡報告	◎ 9 (18%)	○ 1 (4%)	△ 0
カ. 校内諸組織との連絡協力	◎ 7 (14%)	○ 2 (7%)	△ 0
キ. 公共図書館との連絡協力	◎ 1 (2%)	○ 3 (11%)	△ 3 (75%)
ク. 学校図書館の評価と改善	◎ 6 (12%)	○ 4 (15%)	△ 1 (25%)

(全 体)

職 務 内 容	専管事項◎	主導的事項○	補助的事項△
ア. 図書館運営計画の立案実施	◎21 (46%)	○ 12 (26%)	△ 3 (7%)
イ. 組織案の作成と管理	◎10 (22%)	○ 11 (24%)	△ 3 (7%)
ウ. 予算の編成と支出の調整	◎14 (30%)	○ 17 (37%)	△ 3 (7%)
エ. 設備備品の整備	◎ 9 (20%)	○ 24 (52%)	△ 3 (7%)
オ. 校長への連絡報告	◎18 (39%)	○ 11 (24%)	△ 3 (7%)
カ. 校内諸組織との連絡協力	◎15 (33%)	○ 13 (28%)	△ 3 (7%)
キ. 公共図書館との連絡協力	◎ 3 (7%)	○ 10 (22%)	△ 8 (17%)
ク. 学校図書館の評価と改善	◎14 (30%)	○ 16 (35%)	△ 3 (7%)



管理的職務では、専管事項でア．図書館運営計画の立案実施が多く、次いでオ．校長への連絡報告、カ．校内諸組織との連絡協力、次いでク．学校図書館の評価と改善、ウ．予算の編成と支出の調整です。

C 技術的職務

(小学校)

職 務 内 容	専管事項◎	主導的事項○	補助的事項△
ア．図書資料の選択と構成	◎ 4 (17%)	○13 (29%)	△ 4 (9%)
イ．分類の決定	◎ 5 (21%)	○ 9 (20%)	△ 4 (9%)
ウ．目録の作成	◎ 3 (13%)	○ 9 (20%)	△ 4 (9%)
エ．新聞雑誌記事検索の作成	◎ 0	○ 4 (9%)	△ 4 (9%)
オ．特殊資料の作成	◎ 0	○ 1 (2%)	△ 8 (19%)
カ．資料内容の研究と紹介	◎ 0	○ 3 (7%)	△ 6 (14%)
キ．視聴覚資料の管理操作	◎ 1 (4%)	○ 2 (4%)	△ 6 (14%)
ク．コンピュータ並びにコンピュータ・ソフトの管理操作	◎ 3 (13%)	○ 4 (9%)	△ 7 (16%)
無回答 8			

(中学校)

職 務 内 容	専管事項◎	主導的事項○	補助的事項△
ア．図書資料の選択と構成	◎ 4 (67%)	○ 7 (28%)	△ 0
イ．分類の決定	◎ 2 (33%)	○ 5 (20%)	△ 4 (13%)
ウ．目録の作成	◎ 0	○ 4 (16%)	△ 5 (17%)
エ．新聞雑誌記事検索の作成	◎ 0	○ 2 (8%)	△ 5 (17%)
オ．特殊資料の作成	◎ 0	○ 3 (12%)	△ 3 (10%)
カ．資料内容の研究と紹介	◎ 0	○ 3 (12%)	△ 4 (13%)
キ．視聴覚資料の管理操作	◎ 0	○ 1 (4%)	△ 5 (17%)
ク．コンピュータ並びにコンピュータ・ソフトの管理操作	◎ 0	○ 0	△ 4 (13%)
無回答 5			

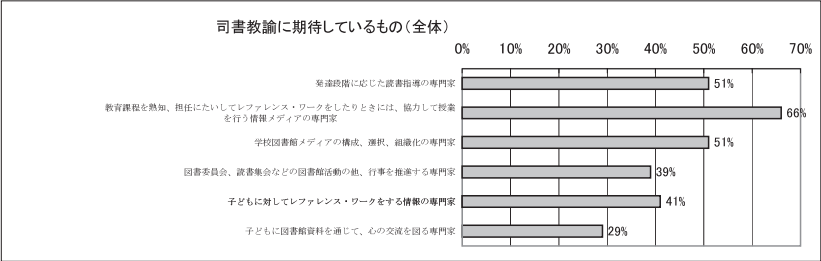
(全 体)

職 務 内 容	専管事項◎	主導的事項○	補助的事項△
ア. 図書資料の選択と構成	◎ 8 (67%)	○20 (35%)	△ 4 (7%)
イ. 分類の決定	◎ 7 (33%)	○14 (25%)	△ 8 (14%)
ウ. 目録の作成	◎ 3 (14%)	○13 (23%)	△ 9 (16%)
エ. 新聞雑誌記事検索の作成	◎ 0	○ 6 (11%)	△ 9 (16%)
オ. 特殊資料の作成	◎ 0	○ 4 (7%)	△11 (19%)
カ. 資料内容の研究と紹介	◎ 0	○ 6 (11%)	△10 (17%)
キ. 視聴覚資料の管理操作	◎ 1 (5%)	○ 3 (5%)	△11 (19%)
ク. コンピュータ並びにコンピュータ・ソフトの管理操作	◎ 3 (14%)	○ 4 (7%)	△ 4 (13%)
無回答 13			

技術的職務の専管事項では、ア. 図書資料の選択と構成、イ. 分類の決定、ウ. 目録の作成などのほかは、無回答が多かった。忙しく現場では図書館の実務がやられてないのではないかと推測する。学校図書館の活性化は、これらの技術的職務から、いろいろ問題点が出て、その問題解決が利用者の要求につながらと思う。忙しくて、そこまでかかわる余裕のなさが技術的職務の一番深刻な問題かと思われる。

問 7 司書教諭の職務について期待しているものを3つ選んでください。

	小学校	中学校	全 体
ア. 発達段階に応じた読書指導の専門家	21 (55%)	9 (43%)	30 (51%)
イ. 教育課程を熟知、担任にたいしてレファレンス・ワークをしたりときには、協力して授業を行う情報メディアの専門家	27 (71%)	12 (57%)	39 (66%)
ウ. 学校図書館メディアの構成、選択、組織化の専門家	21 (55%)	9 (43%)	30 (51%)
エ. 図書委員会、読書集会などの図書館活動の他、行事を推進する専門家	10 (26%)	13 (62%)	23 (39%)
オ. 子どもに対してレファレンス・ワークをする情報の専門家	16 (42%)	8 (38%)	24 (41%)
カ. 子どもに図書館資料を通じて、心の交流を図る専門家	12 (32%)	5 (24%)	17 (29%)
キ. その他			
無回答 2	2 (5%)	2 (9%)	4 (7%)



期待しているものとして、イ. の教育課程を熟知，担任にたいしてレファレンス・ワークをしたりときには，協力して授業を行う情報メディアの専門家が小学校 71％で一番多く，中学校 57％，次いで小学校ではア. 発達段階に応じた読書指導の専門家 55％，中学校ではエ. 図書委員会，読書集会などの図書館活動の他，行事を推進する専門家 62％ と一番期待の多いのはこの項目です。

小・中校の全体では，イ. 教育課程を熟知，担任にたいしてレファレンス・ワークをしたりときには，協力して授業を行う情報メディアの専門家が 66％で一番期待されている項目である。次いで，ア. 発達段階に応じた読書指導の専門家，ウ. 学校図書館メディアの構成，選択，組織化の専門家の順である。

問 8 学校図書館担当の事務職員（学校司書，あるいはそれに代わる人，支援委員等）呼び名（ ）はいますか。 呼び名 学校図書館（運営）支援員

	小学校	中学校	全 体
い る	36 (95%)	19 (90%)	55 (93%)
いない		2 (10%)	2 (3%)
無回答	2 (5%)		2 (3%)

(小学校)

事務職員の身分は次のいずれですか

正規職員（勤務形態 週 時間）

臨時職員（勤務形態 週 12 時間）

週 12 時間	25 (83%)	(6 学級)
週 2 時間	1 (3%)	
週 4 時間	2 (6%)	
週 8 時間	1 (3%)	
週 10 時間	1 (3%)	

臨時職員だけ○して 無回答 3

無回答 4

事務職員の雇用財源は次のいずれですか

公費：34 一部公費： 私費： 無回答：4

事務職員の資格は

司書：5 司書教諭：5 司書補：3 支援員：2 なし：3 無回答：20

勤務形態として、臨時で週 12 時間が普通のようなのである。特に司書を持っている人にこだわらないようですが、できれば司書の資格を持った人を採用していただければ、より専門性が生かせるのではないかと思う。3 日で 1 日 4 時間というのが平均の勤務のようだが、できれば毎日学校図書館を開いてサービスできる体制を組むため、常駐する方向で職員配置を考えられればと希望したい。

(中学校)

事務職員の身分は次のいずれですか

正規職員（勤務形態 週 時間）

臨時職員（勤務形態 週 12 時間）

週 12 時間	16 (80%)
週 8 時間	2 (10%)
週 10 時間	1 (3%)

無回答 2

事務職員の雇用財源は次のいずれですか

公費：19 一部公費：なし 私費：なし 無回答：2

事務職員の資格は

司書：3 司書教諭：4 司書補：4 無回答：9

問 9 研修についてお尋ねします。

9-1 貴校は司書教諭発令後（平成 15 年 4 月以降）学校図書館に関する研修会に参加しましたか。

	小学校	中学校	全 体
は い	10 (26%)	2 (10%)	12 (21%)
いいえ	25 (66%)	15 (75%)	40 (70%)
無回答	3 (8%)	3 (15%)	6 (10%)

9-1で「はい」と答えた方は、その研修のテーマ（又は内容）と主催者について記入してください。

（小学校）

主催者	テーマ	場 所
松山市教育委員会	松山市小学校主任会	会場の小学校
松山市小学校主任会	スクールリブ（School Lib）導入・使い方	自校
愛媛県立図書館	ブックトーク	味酒小
愛媛県立図書館	実践発表・講義	愛媛自治会館
愛媛県立図書館	図書館等と著作権	愛媛自治会館
松山大学	学習の時間における図書館の活用	松山大学

（中学校）

主催者	テーマ	場 所
愛媛県立図書館	子どもの読書活動の推進	愛媛自治会館
愛媛県立図書館	ストーリーテリングについて	愛媛自治会館
	図書館等と著作権	

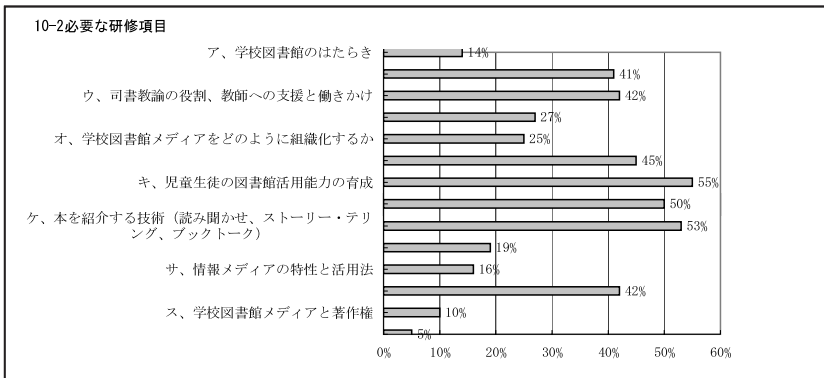
問10-1 今後、司書教諭あるいは学校図書館担当事務職員の研修が必要と思われますか。

	小学校	中学校	全 体
ア. 必要と思う	36 (95%)	20 (95%)	56 (8%)
イ. 特に必要と思わない	2 (5%)	1 (5%)	3 (5%)

問10-2 必要と思う方は下記の項目のうちから選んで○印をつけて下さい。（複数回答可）

（全 体）

ア. 学校図書館のはたらき	8 (14%)
イ. 学校図書館の運営、校内協力体制をどのように作るのか	23 (41%)
ウ. 司書教諭の役割、教師への支援と働きかけ	24 (42%)
エ. 資料の収集および選択法	15 (27%)
オ. 学校図書館メディアをどのように組織化するか	14 (25%)
カ. 学習課程における学校図書館メディア活用の育成	25 (45%)
キ. 児童生徒の図書館活用能力の育成	31 (55%)
ク. 発達段階に応じた読書の指導と計画	28 (50%)
ケ. 本を紹介する技術（読み聞かせ、ストーリー・テリング、ブックトーク）	30 (53%)
コ. 公共図書館との連携	11 (19%)
サ. 情報メディアの特性と活用法	9 (16%)
シ. コンピュータ・データベースと情報検索と発信	24 (42%)
ス. 学校図書館メディアと著作権	6 (10%)
セ. 無回答	3 (5%)



必要と思う研修項目を多い順にあげると、キ、「児童生徒の図書館活用能力の育成」(55%)、ケ、「本を紹介する技術」(53%)、ク、「発達段階に応じた読書の指導と計画」(50%)である。40% 台のテーマをあげると、カ、「学習課程における学校図書館メディア活用の育成」(45%) シ、「コンピュータ・データベースと情報検索と発信」(42%) ウ、「司書教諭の役割、教師への支援と働きかけ」(42%)、イ、「学校図書館の運営・校内協力体制…」(41%) などである。このようなテーマ、または内容の研修会であれば、問9-1のような不参加が70%、無回答10%をあわせると80%が参加しない等ということは無くなるのではないかと。司書教諭や図書館関係職員の声が必要と思う。

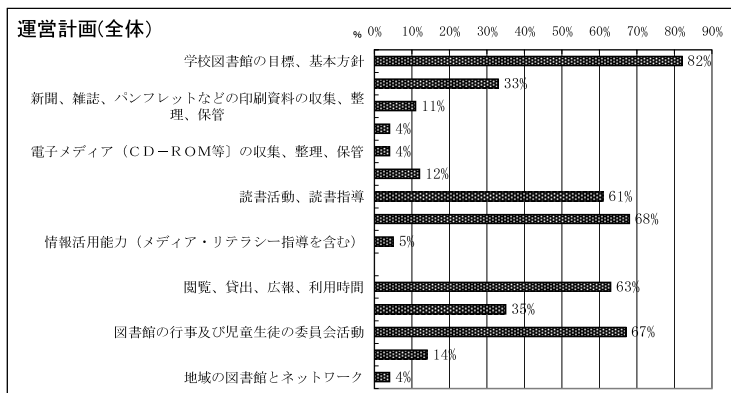
こういう必要な研修項目にあげた幅広いテーマの研修会を開催する必要がある。

問 11 貴校では、学校図書館の運営計画（方法）を策定していますか。

	小学校	中学校	全 体
ア. 策定している	36 (95%)	16 (76%)	52 (91%)
イ. 策定していない	2 (5%)	4 (19%)	4 (7%)
無回答		1 (1%)	1 (2%)

問12 「策定している」と回答した学校にお尋ねします。現在どのような学校図書館の運営計画（方法）を作成していますか。下記の中から選んでください。（複数回答可）

運営計画の作成	小学校	中学校	全 体
ア. 学校図書館の目標，基本方針	30 (79%)	17 (81%)	47 (82%)
イ. 図書資料の収集，整理，保管	12 (32%)	7 (33%)	19 (33%)
ウ. 新聞，雑誌，パンフレットなどの印刷資料の収集，整理，保管	3 (5%)	31 (4%)	6 (11%)
エ. 視聴覚資料（ビデオ等）の収集，整理，保管	2 (5%)	0	2 (4%)
オ. 電子メディア（CD-ROM等）の収集，整理，保管	2 (5%)		2 (4%)
カ. 学習支援（レファレンスを含む），協力授業	5 (13%)	2 (10%)	7 (12%)
キ. 読書活動，読書指導	26 (68%)	9 (43%)	35 (61%)
ク. 利用指導	24 (63%)	15 (71%)	39 (68%)
ケ. 情報活用能力（メディア・リテラシー指導を含む）の育成	3 (8%)	0	3 (5%)
コ. インターネット利用指導計画		0	
サ. 閲覧，貸出，広報，利用時間	21 (55%)	15 (71%)	36 (63%)
シ. 施設，設備，備品など学校図書館の環境整備	14 (37%)	6 (29%)	20 (35%)
ス. 図書館の行事及び児童生徒の委員会活動	23 (60%)	15 (71%)	38 (67%)
セ. 地域社会との連携，協力，ボランティア活動	8 (21%)	0	8 (14%)
ソ. 地域の図書館とのネットワーク	2 (5%)	0	2 (4%)



問12 にあげている運営計画のうち，多くの学校が作成している項目は，ア．「学校図書館の目標，基本方針」(82%)，キ．「読書活動，読書指導」，ク．「利

用指導」，サ．「閲覧，貸出，広報，利用時間」の４項目では 60％ 以上である。しかし，これ以外の項目になると非常に少なくなる。特に，

- １．図書以外の資料関係，ウ．「新聞，雑誌，パンフレットなどの印刷資料…」，エ．「視聴覚資料…」 オ．「電子メディア（CD-ROM 等）の収集・整理・保管」は少ない。
- ２．情報メディア関係の利用…ケ．「情報活用能力の育成」，コ．「インターネット利用指導計画」は，極端に少ない。
- ３．「地域の図書館等との連携，協力…」，セ．「地域社会との連携，協力…」，ソ．「地域の図書館とのネットワーク」等も少ない。とにかく，学習支援に役立つ学校図書館に引き上げるため，これら少ない分野の運営計画ができる組織化の作業を進めることが急がれる。そのため各学校内，学校間の協力，市当局との連携協力も必要である。

問 13 貴校の学校図書館の運営組織はどのようなものですか。下の中から選んでください。

ア	学校図書館の運営全般を担当する委員会を設置している
イ	司書教諭（図書主任を含む）を中心に数名が担当している
ウ	図書係，または図書委員会の係が担当している
エ	司書教諭（図書主任を含む）を中心に校長あるいは学習指導に責任ある管理職，主教師（初等教育では各学年 1 名，中等教育では各教科 1 名）児童生徒で委員会を作る必要がある
オ	図書館諮問委員会（学校関係者，地域のメンバー）を作る必要がある

その他意見（ ）

〈運営組織〉

	小学校	中学校	全 体
ア	7 (26%)	7 (26%)	13 (23%)
イ	19 (70%)	11 (41%)	30 (53%)
ウ	14 (4%)	9 (33%)	23 (40%)
オ			1 (2%)

無回答 3

- １．イ．「司書教諭を中心に数名が担当している」(53%) という組織が多いが

- 数名では人数が少ない。
2. 図書係，図書委員会の係が担当している ア. (23%) と ウ. (40%) を合わせると 63% である。この場合は，司書教諭がメンバーにいるのか否か，いるとすればどういう位置かなどが不明確である。いない場合があるとすれば，発令の意義，司書教諭の職務内容が理解されていないのかも知れない。
3. 司書教諭（図書館主任を含む）を中心に校長又は学習指導責任のある管理職，主要な教師（小学校各学年1名，中学校各教科1名）で委員会を作るのが望ましい。

問 14 学校図書館を運営する決まり，「運営規定」等について現状をお知らせください。（有，無のどちらかに○印）

〈運営規定〉有…のパーセント	小学校	中学校	全 体
「学校図書館の運営規則」	25 (74%)	20 (95%)	45 (79%)
「資料選択規則」	5 (15%)	0 (-)	5 (9%)
「資料の収集・整理・保管に関する規定」	5 (15%)	3 (15%)	8 (14%)
「資料の廃棄に関する規定」	9 (27%)	6 (30%)	15 (26%)
図書館利用指導，サービスに関する規定」	15 (44%)	12 (60%)	27 (47%)
無回答	4 (11%)		4 (7%)

「学校図書館の運営規則」のような総括的な規則は約8割の学校がもっている。資料の収集・選択・保管とか廃棄等の規定を有する学校は少ない。この分野が良くないと十分な利用指導も出来ない。でも利用指導の規則は47%がもっている。

- 5 項目の規則が全部ある…………… 3 校

4 項目の規則がある…………… 2 校

3 項目の規則がある…………… 1 校

2 項目の規則がある…………… 9 校

1 項目の規則がある…………… 2 校

全く規則なし…………… 4 校

調査不能…………… 36 校

これら 5 項目の運営規定は、司書教諭から提案し、校内の協力を得る必要がある。

問 15 貴校の予算構成について、下記の中から選んでください。(平成 15 年度)

ア	学校図書館の予算として令達された公費による		
イ	図書館に令達された公費の他、公費による特別な措置をしている		
ウ	図書館に令達された公費の他、私費による		
	小学校	中学校	全 体
ア	20 (56%)	15 (71%)	35 (61%)
イ	8 (22%)	3 (14%)	11 (19%)
ウ	8 (22%)	3 (14%)	11 (19%)
無回答	1		1 (1%)

具体的に、学校図書館を活性化して、授業に生かすには、

- | | | |
|--|---|---------|
| (1) 図書資料の充実
(2) 教科にあった資料を揃え、検索もできる
(3) 人と予算の問題 | } | 図書館の三要素 |
|--|---|---------|

等、今後の課題が山積みの問題として残っている。

アメリカの学校図書館のような学校図書館メディア・スペシャリスト（加えてテクノロジー・コーディネータがいるところもある）が司書教諭ともう一人専任でいて、なおかつ、学校全体（管理職、学年担当、あるいは教科担当）とコラボレーション（協同）を組み、地域（親、生徒、専門家）と連携を取ることが必要になってくる。その第一歩からはじめることが大切で、その方策を得るために研修がある。

実感としては、研修で得たことを自分の学校に持って帰って、すぐ実現できるようなテーマを望んでいるのもよいが、それと、大きな流れの中で、地域で問題にしているテーマにも一つずつ着実に取り組んでいけたらいいと思う。

朝の読書、読み聞かせを実施。保護者のボランティアの協力をえているところもある。その際、図書の冊数が少ないのが悩みで（蔵書数 5,000～10,000、5,000 強の学校が多く）今後の解決策として、学校間、公共図書館と

の連携への協議、ネットワークへの取組が課題となる。

Ⅲ. まとめ—アンケートを終えての所見

○ 図書費について

このたびのアンケート調査で、「いま必要な緊急対策について」選んでもらった項目の第1位は、「資料費の増額」(70%)、第2位が「各教科の学習に利用できる資料の充実」(56%)が目立った。資料といっても図書以外の資料(新聞・雑誌・パンフレット、さらにCD-ROM等)は無関心である学校が多く、特に図書費の増額を望んでいることがわかった。

ところで、「子ども読書活動推進に基づく学校図書館図書整備費」の新5カ年計画による交付金は、平成14年度から5年間で650億円16年度は130億円が交付税として予算措置されている。小学校(18学級)で44万円、中学校(15学級)で73万2千円の図書費が交付されている⁴⁾。

設問の間3で、この「子ども読書活動の推進に関する法律」や「子ども読書活動の推進に関する基本計画」(閣議決定)等について、その内容等を校内で周知したかどうか問うたが、約50%の学校は何もしていない。また、「新5カ年計画による交付金に相当する図書費が予算化されているか」の設問に関しては、「分からない」(5%)、無回答(86%)で、あわせて90%以上が「学校図書館図書整備新5カ年計画」に無関心であり、意義が理解されていないという実状が窺えた。

一方、文科省は、この新5カ年計画の交付税措置によって、蔵書を「学校図書館図書標準」の1.5倍に引き上げるための措置をしたといっている。現実には多くの自治体では他の費目に流用され、図書費に使用されていない。予算化した自治体は(16.8%)である⁵⁾。松山市も同様である。

それにしても、新5カ年計画による交付金は、「児童・生徒のための図書費」とはっきりしたものが自治体によっては他に流用される。これを教育委員会や学校長は黙っていて良いのだろうか。図書費の増額を切望している現

場の学校としては切実な問題の筈である。財政当局などに学校へ配当するようお願いすべき事項である。

○ 司書教諭について

司書教諭の発令については、12 学級以上の小中学校が市教委によって発令されている。アンケートで目立つのは、女性ばかりの発令で男性は 0 というのは片寄りがあり過ぎる。というのは、司書教諭講習の受講者に男性の先生も 2 割位いたと思う。

それから、全員が教諭と兼任であり、専任の司書教諭は 1 名もいない。兼任なので授業時間数の軽減措置をしたかということ 2 校しかない。小学校 1 校（週 3 時間）中学校 1 校（週 18 時間）があるのみ。この中学校の 1 例はたいへん良い例である。これ位の時間はどうしても必要である。

次に、司書教諭の職務について期待しているものについてのアンケートでは、1)「教育課程を熟知し、担任に対してはレファレンス・ワークや協力して授業を行う情報メディアの専門家」(60%) が第 1 に多く、次に 2)「図書館メディアの構成・選択・組織化の専門家」(51%) 3)「読書指導の専門家」(51%) の 3 つが多い項目で、妥当なことと思う。

今度は、実際には司書教諭の各種の職務内容のうち、どれを担当しているかを設問した。(問 6)、A. 指導的・奉仕的職務、B. 管理的職務、C. 技術的職務の 3 つに大別し、それぞれの項目（内容）の中から専管事項などを◎印をつけてもらった。

A の職務の中では、「生徒委員会の指導」が 1 番

B の職務の中では、「運営計画の立案実施」(46%)「校長への連絡」(39%)
「校内での諸連絡」「予算の支出」に関係している
(7%)

C の職務の中では、「資料の選択・構成」「分類」「目録の作成」「コンピュータ並びにコンピュータ・ソフトの管理操作」など、この分野の実務はやっていない学校が多い。この C の職務は、A、B に比し極端に少ない。すなわ

ち、この分野の仕事を多くの学校はやっていないのである。この分野が行われていないと、レファレンス・ワークも情報の活用も充分に行えず、学校図書館の活性化も望めない。

片手間にやれる仕事ではないので、授業時間の軽減、措置、さらに近い将来に専任化し、また、フルタイムの学校司書（または、図書館事務職員）の配置が必要なのである。

○ 学校司書（松山市の場合、図書館支援員）…

平成15年度から、臨時職員として図書館支援員が配置された。それは良いことであるのだが、特に問題なのは勤務時間が週12時間というあまりにも短いこと、これでは継続的、計画的な業務（例えば、目録作成やデータベース化）はできない。5日間、フルタイムにすべきと思う。

○ 研修

司書教諭発令後、この1年間に研修に参加した学校は2割しかない。研修の必要について伺うと、95%の学校が必要といているし、必要と思う研修テーマ（項目）も多岐にわたっている。（問10参照）

○ 学校図書館の運営計画（方法）を策定していますかの設問では、90%以上の学校が策定している。その策定内容について伺うと、第1に多いのは「学校図書館の目標、基本方針」（82%）次に多いのは、「利用指導」（68%）「読書指導」（61%）「閲覧・貸出・利用時間」（63%）などである。それ以外は非常に少ない。すなわち、少ない項目は、下記のとおりで、余り活動していない分野でもある。

A. 図書以外資料関係…（新聞・雑誌・パンフレット、CD-ROM、視聴覚資料の収集・整理・保存などの運営計画）

B. 情報関係…（情報活用能力の育成、インターネット利用指導）

C. 地域に関する連携や協力（ネットワーク、連携、協力、ボランティア）
少ない分野については、今後の努力に期待したい。

○ 学校図書館の運営組織

学校図書館の運営組織は、「司書教諭を中心に数名が担当している」(53%)「図書係、または図書委員会の係が担当している」(40%)が多いが、これでは司書教諭が専門職としての役割を発揮できない。司書教諭が他の職と違う点は、教諭の上に司書教諭の講習を終了した者であり、教務主任や生徒指導主任とは相違がある。司書教諭の位置づけは、その役割が全校に機能すべき位置に置かれるべきで、従来の図書主任と同じでは不十分である。学校図書館が学校全体への機能が発揮できる学校運営の一つとして、「学校図書館運営委員会」が位置付けられる。その中で司書教諭の指導性の発揮が望まれる。問 13 のエ、司書教諭（図書主任を含む）を中心に校長あるいは学習指導に責任のある管理職、主要な教師（小学校では各学年、中学校では各教科 1 名）で構成する「図書館運営委員会」のような組織が必要である。

○ 司書教諭がその職責を果たすためには、教育委員会によるバックアップが要求される。

1. 教育委員会の発令によること(学校長の発令は、従来の図書主任と同じ)
2. 学校管理規則への明確な位置づけ（管理職）と職務内容を規定化すべきである。（地域との協力や情報のネットワーク化等のため必要）
3. 司書教諭のための研修を実施すること。
4. 将来、専任とする。兼任の場合は、授業時間数の軽減措置をするよう各学校への指導助言する。
5. 学校図書館に専念するための時間の確保と環境条件の整備について規定がないと活動しにくい。

このような事項について、教育委員会の指導や支援がほしい。

Ⅳ. お わ り に

学校図書館に関するアンケート調査を実施しましたが、回答に手間のかかる設問もありましたのに、8 割以上の学校から回答をいただきました。関係各校長及び関係の先生方にご協力のお礼を申し上げます。遅くなりましたが「松山

市の小中学校アンケート調査」：学校図書館の管理運営及び司書教諭に関する現況調査の結果を報告します。

アンケート調査のデータを見て、司書教諭の養成に関係した者の立場から随所に所見を述べましたが、いろいろな課題があることが、少しみえてきたように思います。この調査がこれからの学校図書館の活性化のため、少しでもお役に立てば幸いです。

以上のアンケートの案から内容の検討、実施からまとめまで、元松山大学人文学部司書課程教授亀田弘先生のご指導、ご協力、お力添えがなければできなかったことです。感謝してお礼申し上げます。

注

- 1) 後藤暢（1997）「学校図書館法改正と学校図書館職員配置運動への展望」『図書館雑誌』91-11（1997.11）P905～909
- 2) 大越朝子（1997）「学校図書館に何が期待されているか－法改正議論からみて－」『図書館雑誌』91-11（1997.11）P914～916
- 3) 日本学校図書館学会（1999～2001）「第1～3回学校図書館調査概要（平成10～12）」の調査項目を参考にしました。
- 4) 『学校図書館』2004年7月号645号P10～
- 5) 全国SLA調査 2004年4月『学校図書館速報版』